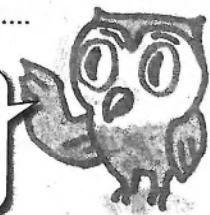


ニュースがわからん!

10/02/16 朝日

ふた集めワクチン、どんな仕組み?



ペットボトルのキャップがワクチンになるまで

(NPO法人エコキャップ推進協会の資料から作製)

キャップを回収



CO₂の発生も抑制

リサイクル業者へ売却

水彩画パレット、プランターなどにリサイクル

エコキャップ推進協会が収益を寄付

NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」

ワクチン



途上国へ

※ワクチンの単価(1人分換算)

・ポリオ(小児まひ)20円 ・BCG(結核)7円

・はしか95円

・MMR(はしか・おたふくかぜ・風疹)114円

主なキャップ
送付先の情報

■NPO法人エコキャップ推進協会

<http://ecocap007.com/uketori.html>

■世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)

http://www.jcv-jp.org/volunteer/recycle_pbc.html

(※送付は直接リサイクル業者などへ。協会、JCVの事務所では受け付けていない)

The Asahi Shimbun

リサイクル収益を寄付、途上国に届けられる

コブク郎 「ペットボトルのキャップを回収しよう」との呼びかけをよく聞くよ。

A キャップを集め、世界の子どもたちにワクチンを送る活動だね。NPO法人「エコキャップ推進協会」(横浜市)は取り組んでいる団体の

一つで、2007年9月に始めた。ペットボトルは回収されるのにキャップが捨てられるのはもったいない、何かできないか、という高校生の思いがきっかけ。集めたキャップは1キロ(約400個)あたり15円でリサイクル業者に売

却され、うち10円がワクチン代としてNPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」に寄付される。ワクチンはミャンマーやラオス、ブータンといった発展途上国などに届けられるよ。

コ わずかなお金に思えるけど。

A そんなことはないよ。キャップは全国から寄せられ、協会は約2年間で約1860万円を寄付できた。これは93万人分の生ポリオワクチンにあたる。800個でポリオ1人分になる計算だね。ポリオは手足にまひが起きることもある深刻な病気だ。世界保健機関(WHO)が根絶を目指していて、先進国ではほとんどみられなくなったけど、一部の途上国ではまだ患者が出てくるんだ。

コ ほかにどんなワクチンに使われているの。

A JCVによると、結核

やはしかなどだ。日本では当たり前のように打てるワクチンだけど、そうじゃない国も世界にはあるんだ。衛生状態がよくない途上国では感染症の被害は深刻だ。ワクチンがあれば命が助かったはずの子どもは、世界中で1日約4千人いると言われているよ。

コ 集めたキャップは何にリサイクルされるの。

A 花を植えるプランターや水彩画のパレットなどになる。もしキャップ1キロがごみとして燃やされたら、3150キロの二酸化炭素(CO₂)が発生するそう。活動には、温暖化の原因と言われるCO₂を抑え、地球環境を守るという意味もあるんだ。

コ どこに持って行くの?

A 協会やJCVのサイトで、回収している業者や団体を紹介されている。原則として自分で持ち込んだり、送料を負担し送ったりする。リサイクルしやすいように軽くすずき、値札などのシールは取り除こうね。(武田耕太)